

令和7年度里庄町地域公共交通会議 議事録

と き 令和8年2月24日（火）

14：00～15：15

ところ 里庄町福祉会館2階 研修室

1. 開 会

・ 出席者 委員15名

（代理出席：旭交通里庄株式会社 所長 新田委員）

・ 欠席者 岡山県備中県民局 井笠地域建設部長 岸委員

2. 町長挨拶

（赤木町長 挨拶）

私事だが、前加藤町長が勇退され、1月28日から町長の役を務めさせていただいている。引き続きどうぞよろしくお願いしたい。

令和5年3月に町公共交通のマスタープランということで、里庄町地域公共交通計画を策定した。タクシー料金助成事業、路線バスの寄島～里庄線を中心に公共交通のあり方について委員の皆様にはいろいろなご意見をいただきながら進めている次第だ。今年度から、昨年度までは二人世帯で3万6千円だった補助額を、一人3万円、二人では6万円支給している。タクシー利用者には大変喜ばれている。今日は、事業のあり方、検証、検討をし、今後の公共交通のあり方について、忌憚のないご意見を賜りたい。利用者の利便性の向上、喜んで利用され、安心できる公共交通を作り、自治体、事業者にとっても持続可能な公共交通のあり方やwin-winの環境を作っていかなければならない。そういうことを含めて、今日は皆様方に貴重なご意見をいただきたい。

3. 議事

（渡邊会長 挨拶）

本日の地域公共交通会議は、議題が2つある。一つは、今年度の事業の進捗状況について、評価指標で確認をしようということ。もう一つは次年度の実施計画について皆様にご審議をいただくということだ。加えて、岡山県から地域公共交通ビジョンという、県が策定したビジョンの案ができたということでご紹介をいただく予定だ。忌憚のないご意見をいただければと思う。

（1）里庄町地域公共交通計画の評価指標の進捗状況について（報告事項）

（2）里庄町地域公共交通計画に基づく新年度実施計画について（協議事項）

- ・ （1）及び（2）を一括議題として、別添「里庄町地域公共交通会議 会議資料」に基づき、事務局から説明

- (渡邊会長) 説明に対し、質問および意見はあるか。
- (平野委員) 多額の経費がかかるのはわかるが、里庄駅に南北エリアをつなぐ連絡通路やエレベーターは設置しないのか。話は進んでいるのか。
- (赤木町長) 里庄駅に関していえば、町だけで進めることはできないので、JRとも相談をしながら進めていく。ただし、現在町としては福社会館と中央公民館の統合も進めており、両者ともに多額の費用がかかることから調整しながら進めていきたい。
- (渡邊会長) タクシーの利用者数の目標33,000人と設定していたが、早くも令和4年に超えている。今回心配なのは、需要と供給の関係で、お客さんが増えて需要が増えるのはいいが、それに対してタクシー会社は対応しきれているのか。断ったり待たせたりする時間があるのか、あるいは対応できているのか、少し話を聞かせていただきたい。
- (小川委員) 里庄タクシーは、台数が少ないので、お断りすることが多い。今日は、私が12時半まで事務所で配車したが3件、空車なし無配車があった。遠くに行かれるお客様が多くて、浜中から倉敷中央病院が1件、大原から玉島協同病院へ行き、その方が鴨方整形外科に帰ってきて、今度は本院の水島協同病院へということがあった。1回走って帰ってくると、1時間以上必要になる。もう1台の方は藤井風さんの聖地巡礼で来られた。台数が少なく申し訳ないけど「1時間待ってくれ」となると、「それでもいいから待つ」というお客様もいるが、「1時間は待てない」という方がかなりいる。台数が少ないのが本当に申し訳ないと思っている。タクシー助成事業もありがたいのだが、乗務員を何とかしなければいけないと思っている。
- (新田委員) うちの方はありがたいことに、従業員が結構いる。1年前、金光タクシーを面倒見るようになり、金光と里庄合わせて約10名でやっている。夜勤の1人を含むそのうちの2人が、体調が悪く休んでいる状態が続いている。夜勤担当者の休みは、お客さんがいない又は少ないところを定めて休んでいる。夜勤時に乗務員が1人しかいないことは少し問題と考えている。電話で「行けません」は、うちは極力取らないようにしている。乗務員が1人しかおらず、早急に2人体制にしなければいけないなと思っている。これからまた面接する。夜の金光駅も里庄駅も工面していきたい。
- (渡邊会長) 寄島タクシーでは、路線バスの話もあるが、先にタクシー事業の状況を示していただきたい。
- (坂本委員) タクシーは、今言われたとおりタクシーが乗車場所にいないため、うちにもかかってくる。私はずっと近所で動いているから現地に向かうが、いないはずの車が帰ってきてお客さんを乗せるから、迎車場所にお客さんがいないことがある。すでに乗車されていたらそれ以上どうすることも出来ず、泣き寝入りの日々だ。夜によそに電話が繋がらなかつたら片っ端からかけて繋がる場所へということで問い合わせがくるのだろう。わざわざ寄島から来て、お客さんがいないのは辛い。常連のお客さんだったら、少し言えばわかってもらえるが、携帯電話でかけてくる外国人の方など、どこへ

かけたかわからないけど繋がったということで、目の前に車が戻ってきたりしたら、それに乗って帰ってしまう。とりあえず電話はするが、すでに乗っておられたら、もうそれ以上言えない。そういう状況だ。

(新田委員) うち、無線とパソコンで仕事をふるのだが、徹底して名前などを確認するようにしている。また「電話しましたか」と声掛けするようにしている。うちにしていなかったら、お断りしている。その話は今日初めて聞いたが、夜は特に、担当者に任せっきりなところがある。片っ端から電話をかけるという状況は知っており、うちもかかってくるので、一言聞くように徹底する。

(小川委員) 里庄タクシーは地元なので、寄島から来るほど大変ではないため、気持ちが微妙に分かるようでわからない。ただ、私が電話を受けるときには、うちが行くより先によそのタクシーがきたら、よそに乗ってください、と言って配車している。お客様がずっと待たれるより、もし来て、乗りたかったら乗ってもらうよう伝えている。

(新田委員) うち、電話しましたかと一言確認するようにしている。していなければいいが、していた場合は、うちはかかってないから待ってもらうようにしている。

(渡邊会長) 里庄町の場合は公共交通にタクシーを位置付けており、とても貴重な資源だと思うので、うまく活用していただきたい。

次に、バス路線の25、26ページに1日あたりの利用者数の推移がある。年間の利用者数が、令和元年度は非常に多く、そこからコロナの影響があつて下がった一方で、今は徐々に増えつつあるとデータからは見えるが感覚的にはどうか。

(坂本委員) 不思議に感じている。今後は、右肩下がりになるのではないかと思っている。現在、寄島の人口は減少しており、利用者の中で最も多い学生も、学校自体が小学校と中学校が統合して、規模が小さくなってきている。民間事業者も減ってきている現在の状況で今後増加を望めるわけがないと思っている。それなのに少し右肩上がりであることと学生が多いことは不思議に思っている。

(渡邊会長) ここで言う学生は、高校生か。

(坂本委員) メインが笠岡商業高校の学生などといったところだろう。この年代が、たまたまバスに乗っていつている世帯が多いのかと思う。学生数は減っているわけだから、不思議だ。

(渡邊会長) 電車を使っている人がバスを試してみようとか、自転車を使っている人がバスに変わってみようとか。

(坂本委員) そうでもない。自転車に乗る人も増えていない。

(渡邊会長) 非常に貴重なご意見だ。他にはあるか。

(宮地委員) タクシー料金助成事業について、利用が増えている状況からも利用する方の満足度は高いのではないかと思う。一方、交付対象外の75歳未満の方の声は町に入っているのか。意見を問えるタイミングが無ければそういった

ものを拾い集めるのはどうか。

(事務局) 本計画を策定する際にパブリックコメントを行い、幅広い年代から意見を聴いている。今回の計画が令和5年から9年の5か年計画となっており、次期の計画に向けて令和9年度に計画を見直す予定である。その際に、タクシー料金助成事業の対象でない世代についても意見をしっかりと聴いてまいりたい。

(渡邊会長) 公共交通計画を作るとき、多くの公共交通は「誰もが乗れる、安心安全な」というのをキャッチフレーズにしている。5ページ目にあるが、基本理念として、妊婦や高齢者等の交通弱者を主な対象として書いてある。実は大都市圏だと、もう少し幅広い公共交通の定義をするのだが、里庄町で定義を広げすぎてしまうと、財源の確保がつかないだろうということで、交通弱者を対象としている。そういう意味では、申し訳ないが車で移動できて、それに満足している方は引き続き車で移動していただいて、運転するのが怖い方や運転免許証を返納した方はしっかりとカバーする。そういった地域公共交通計画にするということで、対象をかなり絞っている。宮地委員のおっしゃることはすごく大事なことだと思っていて、本計画が本当にこのままの考え方でいいのか、次期計画の策定に向けて検討する必要があるかと思う。

(平野委員) 高齢者タクシー料金助成事業で助成券の使用にあたり移動の用途に指定はあるのか。

(事務局) 用途に指定はない。4月に申請すると、500円×5枚で月に2500円もらえる。年間3万円もらえる。3万円の中で計画的に利用いただけたらと思う。

(新田委員) 15ページについて、うちの大賀からの質問になるが、里庄町のタクシーチケットについて、現在17社が使える。笠岡から里庄に来る場合に笠岡市のタクシーチケットをらせるようにはならないのか。

(小川委員) 笠岡市はタクシーチケットをマイナンバーカードで交付している。

4. その他 情報提供として、別添「岡山県地域公共交通ビジョン(案)」に基づき、岡山県県民生活部交通政策課橋本委員から説明。

5. 閉 会

以上